

◆ 江戸川都税事務所長賞 ◆

「税への関心を持って」

江戸川区立小岩第三中学校 3年 高橋 ひなた

「税金は必要ない」という言葉をよく耳にします。税金は本当に必要ないものなのでしょうか。税金は、私たちの暮らしを支えてくれる大切な存在だと私は思います。

しかし私も最初は税についてよく知りませんでした。私は「消費税」という文字をスーパーや、コンビニなどで見るたびに「税金は何に使われているのだろう」と疑問に思っていました。税金について調べる機会があり、私は税金が、教育、医療、福祉、公共施設の整備、などに使われていることを知りました。その中でも国の歳出で大きな割合を占めているのは、社会保障関係費です。社会保障関係費は、医療、介護、年金、子育て、などに使われ、あらゆる世代の支えになっています。自治体によっては子どもの医療費が無償化されたり、子育てを助ける支援をされていて、子どもを育てやすい環境にもなっています。これは、少子化問題の対策にもつながっています。税金は私たちの豊かな暮らしを支えているのです。また、警察や消防にも税金が使われています。私たちの安全を守る警察や消防も、税金なしでは成り立たないのです。税金は私たちの安全な暮らしも支えています。

これらのことから私たちが普段あたりまえだと思っている生活は、税金に支えられ、成り立っていたことがよく分かります。税金がどのように使われ、私たちの生活にどう関わってくるのか。これを知らずに税金を払い続けている人は少なくないと思います。少なくないから「税金は必要ない」などの意見も聞こえてくるのだと思います。このことがきっかけとなり、私はより多くの人に税への理解を深めてほしいと思うようになりました。

私自身も税への理解を深めようと思い、さらに調べてみました。そして、今の私たちの国では、財政赤字が拡大しているという問題があることを知りました。さらにくわしく調べると、国が歳入不足を補うために国債を発行し、公債金収入というものを得ていることがわかりました。これは国の借金なので、元本を返済し、利子を支払う必要があり、国の支出の約4分の1と大きな割合を占めていることもわかりました。これが、このままだと将来の世代に大きな負担を残すと言われていることを知り、私は少し不安になりました。私も将来は納税者になるからです。しかし、このような状況だからこそ私たちは「税のあり方」を考えるべきだと思います。それを考えることは、日本の将来の姿を考えることにつながっていくと思います。

みんなが安心して豊かな生活を送れる、より良い社会にしていけるために、多くの人に税への関心を持ってもらいたいです。